

九州医師会連合会第1回勤務医連絡協議会

沖縄県医師会が描く「次の時代」へ —若手とともに進化する医師会のかたち—

常任理事 玉城 研太朗



九州医師会連合会第1回勤務医連絡協議会

日時：令和7年9月27日（土）14:00～15:45

場所：グランドハイアット福岡 2階 サボイ

（テーマ）

「各県医師会の組織強化の取組み」

（趣旨）

大学との連携や若手医師の医師会活動への参加等、九州各県における勤務医支援をはじめとした組織強化に係る取組みを集約・整理し好事例の横展開を図るとともに、日医勤務医委員会の動向も踏まえ、九州ブロックの共通課題等を抽出・整理し日医へ提示する。

<次第>

(1) 開会

(2) 挨拶及び趣旨説明

(3) 来賓紹介

(4) 座長選出

令和7年9月27日（土）、グランドハイアット福岡において、九州医師会連合会第1回勤務医連絡協議会が開催されました。

今回のテーマは「組織力強化」。九州の先生方の前で、沖縄県医師会の取り組みを紹介する機会を頂きました。座長から次々とご指名をいただき、正直なところ——鼻高々でございました。それだけ、沖縄県医師会の挑戦が全国的にも注目されているということだと思います。

まず何よりも象徴的なのは、日本で一番若い都道府県医師会長の誕生です。そして理事会には、30代から70代までという幅広い世代の先生方が集結。琉球大学の先生方や勤務医の先生方も多く参画し、診療科や勤務形態の垣根を越えた「オール沖縄医師会」とも言える体制が整いました。世代を超えて意見を交わす理事会の雰囲気は、まるで“多世代カンファレンス”。ベテランの知恵と若手のエネルギーがぶつかり

(5) 全体協議・意見交換（60分）

- 医師会活動に関わる大学医師等に各県1名以上参加していただく。
- 各県にテーマに関する事前調査を実施し、配布資料にまとめる。
- 事前調査内容をもとに各県へ課題と今後の方向性を確認するとともに、大学医師等からも意見を伺い共通課題等を抽出する。

(6) 総括

(7) 日本医師会役員からのご発言

(8) 閉会

合う、活気ある場となっています。

勤務医を含めた組織力強化の一環として、私たちは「若手が自ら考え、動く医師会」を目指しています。その象徴が「Team F-vision」。若手医師が主体的に、医師会を通じて社会への医療貢献をどう形にしていくかを議論するチームです。医師会は“教える場”ではなく、“若手が挑戦できる場”であるべきだと考えています。

また、毎年開催している新研修医歓迎シンポジウム・レセプションでは、医師会の意義を熱く語る講演を行い、「医師会はあなたたちを心から応援している」というメッセージを届けています。ただし、形式的な「医師会とは…」という説明だけでは、若い先生方の心には響きません。大事なのは“話す内容”と“話し方”、そして何より“パッション”です。自分で言うのもなんですが、この分野は得意中の得意でございます。

若手の仲間集めについて質問を受けた際には、「まずは声をかけ、スカウトから始めました」とお答えしました。そこからLINEグループを作成し、活動の輪をどんどん広げています。さらに、ワーキンググループの座談会をYouTubeでも公開していますので、ぜひ一度ご覧ください。沖縄の若手医師たちの熱量が伝わると思います。

そして近年、琉球大学との連携もますます強化されています。田名会長が琉球大学ご出身ということもあり、大学と県医師会の距離がぐっと近づきました。医師会の役割を学ぶ講義、寄付による医師会エンブレム入り白衣の授与、臨床教授と医師会役員との交流会など、数々の新しい取り組みが始まっています。将来的には学生会員制度の創設や、卒業後のスムーズな医師会入会を促す仕組みづくりも構想中です。大学と医師会が一体となり、「医師としての原点を学び、地域に還元する」流れを作りたいと考えています。

沖縄県医師会の挑戦は、まだ始まったばかりです。世代と立場を超えて手を取り合い、全国の都道府県医師会を牽引する存在へ—私たちはこの「Project Okinawa」をさらに進化させてまいります。南の島から、医師会の未来を熱く、面白く、そして確かに変えていきます。

※報告書の詳細につきましてはホームページをご参照下さい。

<https://www.okinawa.med.or.jp/medical/kaihou/houkoku/202303-2/>



「ワーキンググループの座談会」は
こちらから視聴できます

[沖縄県医師会 YouTube チャンネル]

Team F-Vision 座談会

<https://youtu.be/ybUVNSPXVO4?si=8ZGQhH0juYH8Yz0E>

